

KIOXIA

SSD FW Updater

ユーザーガイド

ソフトウェアバージョン 1.0.2

目次

はじめに	1
システム要件	1
SSD FW Updaterの使い方	2
GPG署名の確認と除去	2
インストール方法	2
SSD FW Updaterの実行	2
禁止操作	4
アンインストール方法	4
エラーメッセージ	5
商標について	6

© 2026 キオクシア株式会社. All Rights Reserved. 方法や形態を問わずキオクシア株式会社からの書面による許可なしに、本ドキュメントのいかなる部分を複製・頒布することも、派生著作物（翻訳、変形処理、改作など）の作成のために使用することも禁止します。

通知

本ガイドに含まれる情報は、予告なく変更される可能性があります。キオクシア株式会社およびその関連会社（「キオクシア」）は、本ユーザーガイドまたはここに記載されたその他の情報に関する保証は一切提供しないものとし、それらに関連して、特定目的に対する商品性または適合性についての一切の黙示の保証をここに明示的に否認します。キオクシアは、本ガイドに含まれている技術的な誤りまたは誤字脱字、あるいは対象製品とガイドとの間の不一致などから直接的にまたは間接的に発生した損害について、一切の責任を負わないものとし、いかなる場合も、キオクシアは、それらが不法行為、契約、その他に基づくものであれ、本ガイドまたはここに記載されたその他の情報、またはその使用から、もしくはそれらに関連して発生した偶発的、結果的、特異的、典型的な損害に関する責任を一切負いません。

免責事項

本アプリケーションを使用することによって生じる損害・損失に関して、当社は一切の責任を負いません。本アプリケーションは「現状有姿」にて提供されるものとし、いかなる保証も付されません。前記に制限されることなく、キオクシアは、商業性の保証、目的適合性の保証、あるいは第三者の権利の非侵害の保証を含め、明示的にも黙示的にも、アプリケーションに関わるいかなる保証も致しません。キオクシアは、アプリケーションの動作が中断しないことも、エラーがないことも、安全であることも保証致しません。インストールまたは、アプリケーションの使用は、お客様ご自身の責任で行ってください。本アプリケーションに掲載される製品画像はイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

キオクシアお客様サポート

キオクシア株式会社 製品には、無償のキオクシアお客様サポートが含まれております。インストール等やエラーメッセージの対処方法で対処しきれない場合は、<https://personal.kioxia.com/support/> からお問い合わせください。

はじめに

SSD FW UpdaterではLinux™マシンでサポート対象のSSDのファームウェアを確認し、より新しいファームウェアが見つかった場合更新することができます。

システム要件

サポート対象のSSDには以下があります：

	Linux ディストリビューション	
	Fedora (*1)	Ubuntu (*1)
EXCERIA PRO G2 SSD	✓	✓
EXCERIA PRO SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G4 SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G3 SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS G2 SSD	✓	✓
EXCERIA PLUS SSD	✓	✓
EXCERIA G2 SSD	✓	✓
EXCERIA SSD	✓	✓
EXCERIA BASIC SSD	✓	✓
EXCERIA with Heatsink SSD	✓	✓
EXCERIA SATA SSD (*2)	✓	✓

*1: 対象のバージョンは本ツールのダウンロードサイトを参照願います。

2: 240GB (ファームウェアバージョン：SBFA12.)はサポート対象外です。

⚠ 注意：意図しないデータ消失を避けるため、ファームウェアの更新を開始する前に、SSD上の保存しておきたいデータのバックアップコピーを必ず作成してください。

① SSD FW Updaterを使用する前に、以下をご確認ください。

- ファームウェアの更新には、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。
- SSD FW UpdaterのファイルはGPG (GNU Privacy Guard) により署名が付与されているためGPGツールが使える環境が必要です。
- SSD FW Updaterはスーパーユーザー権限で実行する必要があります。
- SSD FW Updaterの動作についてお困りの際はキオクシアお客様サポート (<https://personal.kioxia.com/support>)へお問い合わせください。

SSD FW Updaterの使い方

このガイドでは、SSDがすでにLinuxマシンへ正しくインストールされていることを前提としています。

GPG署名の確認と除去

当社ダウンロードサイトからダウンロードされたファイルはGPGにより署名が付与されています。当社の公開鍵により、ダウンロードされたファイルへ付与されている署名が正しいことを確認し、署名の除去を実行してください。

インストール方法

前節で署名が除去されたパッケージ（拡張子.deb または .rpm）をインストールしてください。

SSD FW Updaterの実行

SSD FW Updaterは、前節で展開されたディレクトリの中のファイル「kfut」をコマンドラインで実行することでSSD FW Updaterの機能を使うことができます。このコマンドはスーパーユーザー権限で、オンライン状態で実行してください。

kfutの機能は以下のアクションとオプションを指定することで実行できます。（複数の機能を同時に指定することはできません。）

機能：

機能	アクション	説明
scan	-s, --scan,	kfutでサポートされているSSDを検出し一覧を表示します。 一覧にはそれぞれのSSDの容量、モデル名、シリアル番号、ファームウェアのリビジョン、もしあれば更新可能なファームウェアのリビジョンが表示されます。 使用例：sudo kfut --scan <pre>root@ubuntu:~# sudo kfut --scan Capacity Model Serial Revision Update? ----- 1 TB KIOXIA-EXCERIA PLUS G2 SSD 733A8C0XXXXX ECFA11.4 960 GB KIOXIA-EXCERIA SATA SSD 40B8B703YKFB1 SBFA16.3 SBFA16.5</pre>

update	-u, --update <serial number>	scan機能で見つかったファームウェアを更新することができます。 kfutコマンドを実行する際にシリアル番号を指定することで、キオクシアのサーバーからファームウェアをダウンロードし更新します。 使用例：sudo kfut --update <対象SSDのシリアル番号> <pre> rugi@fowara:~\$ sudo kfut --update 4088700VW004 You have selected drive: 960 GB KIOXIA-EXCERIA SATA SSD 4088700VW004 SBFA16.3 SBFA16.5 Its firmware will be updated from SBFA16.3 to SBFA16.5 Before proceeding, • Please see the Support Page for any Firmware Release Notes: https://europe.kioxia.com/en-europe/personal/support/download/ssd/exceria-sata.html • Please ensure that you have a backup of all the data present on the drive. WARNING: During device programming, ensure your machine remains powered-on. Do you wish to continue? [y/N] y </pre>
help	-h, --help	kfutの使い方、アクション、オプションの説明が表示されます。 使用例：sudo kfut --help <pre> rugi@fowara:~\$ sudo kfut --help KIOXIA SSD FW Updater Copyright © 2026 KIOXIA Corporation. All Rights Reserved. Scans your system for recognised drives, and updates firmware to the latest revision. Usage: kfut --help kfut --version kfut --scan [-i] </pre>
version	-v, --version	SSD FW Updater のバージョンを確認できます。 使用例：sudo kfut --version <pre> rugi@fowara:~\$ sudo kfut --version kfut v1.0.1 Copyright © 2026 KIOXIA Corporation. All Rights Reserved. </pre>

オプション：

オプション	サポートされる機能	説明
-j, --json	scan, help, version	JSON形式でCLI上の表示を出力することができます。 このオプションはSSD FW Updaterと連携する自動スクリプトツールを使用する場合に便利です。 使用例：sudo kfut --scan --json <pre> rugi@fowara:~\$ sudo kfut --scan --json [{ "capacity": "1 TB", "error": 0, "fwRevision": "ECFA11.4", "latestRevision": "", "model": "KIOXIA-EXCERIA PLUS G2 SSD", "releaseNotesUrl": "", "serial": "4088700VW004" }] </pre>

-y, --yes	update	このオプションを使用しない場合はupdate機能の実行中に、更新作業を続けてよいかを確認するメッセージが表示され「y」キー入力することで更新が始まります。 このオプションを指定すれば、途中でキー入力をせずに更新できます。 このオプションにより、SSD FW Updaterと連携する自動スクリプトツールを使用する場合にキーボードからの入力待ちを回避できます。 使用例：sudo kfut --update <対象SSDのシリアル番号> --yes
-l, --log [+]<ファイル名>	すべて	Log情報をテキストファイルに出力することができます。ファイル名の前に[+]を付与することで既存のテキストファイルの最後にLog情報を追加することができます。 使用例：sudo kfut --scan --log <ファイル名> <pre> root@ubuntu:~# sudo kfut --scan --log SCN-Log.txt Capacity Model Serial Revision Update? ----- 1 TB KIOXIA-EXCERIA PLUS 62 SSD 733A880XK9F1 ECFA11.4 960 GB KIOXIA-EXCERIA SATA SSD 4333780VKP01 SBFA16.3 SBFA16.5 </pre>

禁止操作

下記は禁止操作ですので実施しないでください。

- 同時に複数のコンソールからの本ツールの起動・操作・実行。
- ファームウェア更新実行中の中断。（Ctrl+C によるコマンドの中断、SSDの取り外し、等）

アンインストール方法

お使いのLinuxディストリビューションのアンインストール手順にしたがってアンインストールしてください。

エラーメッセージ

SSD Firmware Updater エラーメッセージ	いつエラーメッセージが 表示されるか	エラー内容と対処方法
-error-	scan機能実施時の 「Update?」の項目	サーバーから更新ファームウェアの情報を入手 することができませんでした。 ご使用のLinuxマシンをオンラインにしてくださ い。
kfut: Invalid argument "xxxx"	kfutコマンド実行時	認められていない引数が指定されています。 本ユーザーガイドおよびhelp機能を参照して引 数に正しいアクションを指定してください。
kfut: You must specify exactly one action. Use "--help" for help.	kfutコマンド実行時	複数のアクションが指定されています。 アクションは一つだけ指定してください。
kfut: Unknown option 'xxxx'	kfutコマンド実行時	認められていないアクションが指定されていま す。 本ユーザーガイドおよびhelp機能を参照して正 しいアクションを指定してください。
kfut: Missing value after 'xxx'	kfutコマンド実行時	オプションや引数が必須のアクションに対して オプションや引数がありません。 本ユーザーガイドおよびhelp機能を参照して正 しいオプションや引数を指定してください。
No drive has serial number "xxxx"	update機能実施時	ファームウェアの更新対象に指定したシリアル 番号のSSDがあなたのLinuxマシンにインストー ルされていません。 シリアル番号を確認し正しいシリアル番号を指 定してください。

商標について

- Linuxは、米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの商標または登録商標です。

その他記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。